

# 目 次

## 論 文

形而上派詩とニュー・クリティシズム - モダン、ポストモダンって いったい何・・・・・・・・・・・・・・・・・・安藤 重治	1
『日本靈異記』から見る律令国家の王土思想・・・・・・・・・・伊藤 信博	19
『坊っちゃん』と『草枕』を読み返す - 「語り」の視点を手がかりにして ・・・・・・・・・・・・・・・・・・柴田 庄一	37
調和と死 - 戦意高揚詩としての“Little Gidding”・・・・・・・・・・長畑 明利	55
村上春樹の「閉じられた庭」・・・・・・・・・・・・・・・・・・西川 智之	71
A Mexican Tragedy: The Mutilation of a Cinematic Masterpiece ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ピーター・B・ハーイ	87
“ウィーン古典派”の音楽を読み直す・・・・・・・・・・藤井 たぎる	117
政治の原風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・布施 哲	133
嫦娥は家を出てからどうなったか - 魯迅「奔月」再読・・・・星野 幸代	149
森鷗外「阿部一族」を読み直す - 日本の男の主体とは・・松本 伊瑳子	159
シェイクスピアを読み直す - 身体論登場とその背景・・・・村主 幸一	173
Authority and Subversive Narrations: Rereading the <i>Canterbury Tales</i> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・デイヴィッド・S・ラムジー	195
夏目漱石の『坑夫』における語りの仕組みと明暗・・・・・・・・・・涌井 隆	217
ファンタジーの古典『指輪物語』を読み直す - 王権と道化について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・渡辺 美樹	231